

事業計画及び 成長可能性に関する事項

〈 中長期ビジョン開示に伴う 更新版 〉

2025年11月開示「**事業計画及び成長可能性に関する事項**」との対比 —
中長期ビジョンに基づく **事業計画の再編整理**

01 — G A P サ マ リ ー

前回開示から、4つの再編を実施。

※ 2025年11月14日開示との差異は以下の4項目となります。その他の事項は前回開示資料をご確認ください。

▶ 前回開示（2025年11月14日）		▶ 中長期ビジョン（2026年07月15日）	
01 ポジショニング	前回：競合環境（P.20） 開発型バイオファウンドリー 受託製造事業者（生産型バイオファウンドリー）や事業会社と連携し、バイオものづくり技術の研究開発を行う立場	→	新：企業ポジショニング（中長期ビジョン P.8） 統合型産業プラットフォーム 開発から生産・技術供与まで 3事業を束ねる 統合型の産業プラットフォームへ進化
02 事業セグメント	前回：事業の内容（P.13） 研究開発受託／ライセンス／自社販売／テクノロジーパッケージ 収益の計上形態を軸としたモデル区分	→	新：事業別（3事業）（中長期ビジョン P.7～P.8） 開発型バイオファウンドリ／生産型バイオファウンドリ／テクノロジーパッケージ 事業の「役割」を軸に再編（開発／生産／技術供与）
03 成長エンジン	前回：成長戦略（P.57） 1軸の成長モデル 研究開発受託を通じてプラットフォームを構築 → ライセンス／自社販売／テクノロジーパッケージへ展開	→	新：成長エンジン（中長期ビジョン P.6） 「2階建て」の成長エンジン 1F「稼ぐエンジン」 で確実な収益、 2F「夢のエンジン」 で世界へ挑戦する構造
04 パイプライン	前回：主要パイプライン（7項目）（P.57） 7つのパイプライン バイオファウンドリ事業関連／木質バイオマス由来のエタノール関連 ほか5項目	→	新：パイプラインの再編＋新規追加（中長期ビジョン P.12） 3事業へ再配置 ＋ 9製品を新規追加 既存7項目を3事業へ再配置（ CO2由来のバイオ化学品は終了 ）＋生産型バイオファウンドリに 9製品を新規追加

▶ 再編の目的

投資家のみなさまが**事業の役割・進捗・収益貢献**をより明確に理解できるよう、収益区分ベースから**事業（役割）ベース**への再編を実施。

当社の実態と成長ストーリーを、よりの確に反映する開示体系へ進化します。本資料では02 事業セグメント（P.3ご参照）と04 パイプライン（P.4ご参照）の再編内容をご説明いたします。

なお、01 ポジショニング・03 成長エンジンの詳細は、中長期ビジョン本編をご参照ください。

4つの収益区分を、3事業セグメントへ統合。

対応：前回開示 P.13（事業の内容） → 中長期ビジョン P.7（3つの事業セグメント）

前回開示（2025.11）
収益区分別（4区分）

01
研究開発受託
パートナー企業からの受託によりStage2の開発を実施

02
ライセンス
ライセンシー（生産者）による製造販売、当社はロイヤリティを受領

03
自社販売
当社自らが生産・販売するモデル

04
テクノロジーパッケージ
菌体・プロセス・設備をパッケージ化し、パートナーへ提供

再編
→

中長期ビジョン（2026.07）
事業別（3事業）

B-1
開発型バイオファウンドリ
パートナー企業から開発を受託し、微生物・発酵プロセスを設計。全パイプラインの源流。
統合元：研究開発受託（01）

B-2
生産型バイオファウンドリ
B-1で開発したパイプラインを商用化し、自社で生産（OEMを含む）・販売。確実にキャッシュを生む事業。
統合元：ライセンス（02） + 自社販売（03）

B-3
テクノロジーパッケージ
B-1・B-2で確立した技術・菌株・生産プロセスをパッケージ化しライセンスする事業。
統合元：テクノロジーパッケージ（04）

収益の計上形態から、事業の役割・機能を軸としたセグメント構造へ再編。「ライセンス」と「自社販売」は、いずれもB-1で開発した案件の商用化という役割で共通するため、生産型バイオファウンドリに統合しました。

7つのパイプラインを再編し、生産型バイオファウンドリに9製品を新規追加。

04

GAPサマリー
パイプライン

対応：前回開示 P.57（成長戦略／主要パイプライン） → 中長期ビジョン P.12（ターゲット産業）

① 既存7パイプラインの再編

#	前回開示（2025.11）パイプライン	→	中長期ビジョン（2026.07）3事業への位置づけ	補足カテゴリ
1	バイオファウンドリ事業関連 NEDOバイオファウンドリ事業（2021～2026年度）	→	開発型バイオファウンドリ	プラットフォーム構築
2	木質バイオマス由来のエタノール関連 日本製紙・住友商事（森空プロジェクト®）	→	テクノロジーパッケージ	木質バイオマス由来 のエタノール
3	製紙産業素材由来のバイオ燃料・バイオ樹脂原料 大王製紙（NEDOバイオものづくり革命推進事業第1回）	→	テクノロジーパッケージ	木質バイオマス由来 のエタノール
4	パーム残渣由来のバイオ燃料・バイオ化学品 電源開発ほか（東南アジア展開）	→	テクノロジーパッケージ	OPT由来 のバイオエタノール
5	米由来の次世代タンパク質 お多福醸造・Agro Ludens	→	生産型バイオファウンドリ	食品添加物
6	CO2由来のバイオ化学品 NEDOグリーンイノベーション基金事業	×	プロジェクト終了	国プロ事業終了
7	セルロース・ヘミセルロース・リグニン由来のバイオ化学品関連 住友林業	→	開発型バイオファウンドリ	共同研究

② 中長期ビジョンで新規追加したパイプライン（生産型バイオファウンドリ）

NEW	中長期ビジョンで新規追加したカテゴリ（生産型バイオファウンドリ）	新規製品数	補足
+	生産型バイオファウンドリ／化粧品原料等	4製品が新規	高付加価値領域（自社販売） — 4製品すべてが新規
+	生産型バイオファウンドリ／食品添加物	2製品が新規	既存の「米由来の次世代タンパク質」に加えて2製品が新規
+	生産型バイオファウンドリ／飼料添加物	3製品が新規	高付加価値領域（自社販売） — 3製品すべてが新規

変更点の要約

既存7項目を3事業へ再配置：既存7項目のうち「CO2由来のバイオ化学品」は終了+ 生産型バイオファウンドリに9製品を新規追加（化粧品原料等4+ 食品添加物2+ 飼料添加物3）。

DISCLAIMER

免責事項および将来見通しに関する注意事項

1 本資料の位置づけ

本資料は当社の企業説明に関する情報提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘する目的で提供されるものではありません。本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものでなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についても何ら補償するものではありません。

2 将来見通し情報（forward-looking statements）について

本資料ならびに本発表において提供される情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

3 リスクおよび不確実性

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

4 本資料の更新義務

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合でも、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。